

F-REDD 2 Newsletter

The Project for Enhancing Sustainable Forest Management in
Collaboration with REDD+ Programs and REDD+ Funds in Laos
Feb 2022 - Jan 2027

ラオス国効果的なREDD+資金活用に向けた持続的森林管理能力強化プロジェクト (F-REDD 2)

本プロジェクトはREDD+成果支払いの獲得、および同資金による事業実施を支援しつつ、ラオス森林セクターの今後の優先課題である森林戦略2035の実施体制の強化及びREDD+関連活動のさらなる推進・強化を通じて、ラオスにおける持続的森林管理の能力強化することを目的としています。

効果的なREDD+資金活用に向けた持続的森林管理能力強化プロジェクト (F-REDD 2)が開始されました

JICAはラオスの森林セクターに対する支援を継続的に行っており、2014年から2022年1月まで実施した「持続可能な森林管理及びREDD+支援プロジェクト (F-REDD)」では、中央から地方、政策支援から森林情報整備や現場活動支援まで幅広い取り組みを推進しました。

2022年2月からは、緑の気候基金 (Green Climate Fund: GCF) の資金の獲得、および同資金による事業実施を支援しつつ、ラオス森林セクターの今後の優先課題である森林戦略2035 (注1) の実施体制の強化およびREDD+ (注2) 関連活動のさらなる推進・強化を通じて、ラオスにおける持続的森林管理の能力強化を支援すべく、「効果的なREDD+資金活用に向けた持続的森林管理能力強化プロジェクト (F-REDD 2)」が開始されました。

同年3月17日には、F-REDD 2のキックオフ会議として第1回合同調整委員会 (Joint Coordination Committee: JCC) (注3) を開催しました。JCCではラオス森林局のSousath局長とJICAラオス事務所の長瀬所長が共同議長を務め、ラオス政府の関係省庁や機関、サバナケット県農林事務所、JICAラオス事務所、在ラオス日本大使館 (オンライン)、プロジェクトの専門家 (日本在住メンバーはオンライン) の総勢22名が参加しました。プロジェクトの概要が説明され、今後の進め方に関する質疑や議論が交わされ、プロジェクトの正式開始が承認されました。

今後も関係者間で定期的にプロジェクトの進捗状況や課題を共有するため、四半期会議を開催することが決定し、早速6月13日に第1回四半期会議が開催されました。

(注1) 森林戦略2035: 現在策定中の政策。森林率を70%に回復させ、回復した森林を継続的に管理および開発し、生物多様性、流域保全、環境の質の向上、地球温暖化のインパクト軽減などを成し遂げることをビジョンとして掲げている。

(注2) REDD+: 途上国での森林減少・劣化による温室効果ガスの排出を緩和することに対して経済的なインセンティブを国際社会が提供する仕組み。

(注3) 合同調整委員会 (JCC: Joint Coordination Committee): 当プロジェクトの計画作成や承認を行うプロジェクトの意思決定機関。



第1回JCC

2022年はラオスのMRVとNFMSにとって重要な年です

今年、ラオスでは森林炭素パートナーシップ基金（Forest Carbon Partnership Facility: FCPF）炭素基金（注1）の排出削減プログラムによる要求事項の一つとして、ベースライン期間である2005～2015年とモニタリング期間である2019年～2021年を比較して、北部6県で測定された年平均排出削減および吸収量を記載した排出削減モニタリング報告書を提出します。この排出削減および吸収量を測定・報告・検証する取り組み（Measurement, Reporting and Verification: MRV）は、炭素基金においてMMR（Measurement, Monitoring and Reporting）と呼ばれています。F-REDD 2では、森林局、特に森林調査計画課に対し、MMRに必要な「2022年森林区分図」作成のための支援を行っています。この「2022年森林区分図」は北部6県を優先的に完成させ、今年末には全国レベルのMRVのために国全体をカバーする予定です。また、F-REDD 2は、最新のアプローチや技術を取り入れた参照レベル（RL）の改訂を検討するため、世界銀行や森林局（REDD+課）、米国Silva Carbonプログラムとの議論を促進しています。排出削減モニタリング報告書は2022年12月に提出される予定です。

6月9日には、MRV、森林モニタリング、データマネジメントなど、国家森林モニタリングシステム（NFMS）構築のための取り組みを調整するため、第

3回NFMS技術作業部会が開催されました。各サブグループの業務計画の発表に加え、ラオス国立大学森林科学部のChittana博士による森林火災のマッピング、RECOFTCによるボケオ県とサヤブリ県でのFLOURISHプロジェクトにおけるコミュニティベースの火災管理、WWFによる森林減少の早期発見・予測システム（Forest Foresight）についての発表が行われました。

（注1）FCPFとは、世界銀行が信託を受けて運営するREDD+基金。そのうち炭素基金（Carbon Fund）は世界18ヶ国に対して成果支払い基金を予定している。

Lao PDR（英語）（外部サイト）

<https://www.forestcarbonpartnership.org/country/lao-pdr>



第3回NFMS 技術作業部会会議

GCF REDD+成果支払いの申請に向けた期待が高まっています

緑の気候基金（Green Climate Fund: GCF）は、開発途上国の気候変動対策支援を目的したUNFCCCの基金として2010年に設立されました。この支援の一つに「REDD+成果支払いプログラム」があります（注1）。同プログラムの第1フェーズ資金が終了したのを受け、UNFCCCは現在、2022年中の第2フェーズ開始を目指して準備を進めています。

ラオスは2020年9月に同プログラムの申請に向けたコンセプトノートを提出し、「パイプライン国」に位置付けられています。また、今後の申請に必要なファンディングプロポーザルや、セーフガードおよびジェンダーに関する付属文書の準備も進んでいます。

さらに、ラオス政府とJICAは、JICAをGCF認証機関（申請者）として同プログラムへの申請を目指すことで合意しています。

同プログラム第2フェーズの開始への期待の高まりを背景に、JICAミッションが2022年6月にビエンチャンを来訪し、ラオス側と協議を行いました。コロナ禍に入る前の2020年1月以降、実に2年半ぶりの来訪です。なお、同プログラムの申請に向けた準備が中断した時期があり、その間にラオス森林局の関係者の人事異動も続いたことから、JICAミッションに先立ち、F-REDD 2は、これまでの経緯や申請案の内容などについて改めて説明する会議を開催しました。

その後の6月16日と17日の2日間のミッション協議では、ラオス森林局（Department of Forestry: DOF）とJICA双方でGCF REDD+成果支払いの申請に向けた強い意欲と、今後想定される作業プロセスが確認されました。

GCF REDD+成果支払いはラオスが森林保全をさらに進めるための重要な機会です。F-REDD 2はラオスがその機会を掴めるように引き続き協力を行います。

(注1) <https://www.greenclimate.fund/redd>



GCF REDD+成果支払いについて
JICAミッションとDOFで協議

サバナケット県でF-REDD 2のキックオフ会合を開催しました

F-REDD 2では、ラオス中部のサバナケット県を対象として、REDD+実施に向けた実施体制の構築や能力強化を支援します。このプロジェクト開始のタイミングで、サバナケット県の県・郡の農林事務所の関係者を対象としたキックオフ会合を開催しました。まずラオスにおけるREDD+の取り組み状況を紹介した上で、プロジェクトの活動内容やワークプランを説明し、意見交換を行いました。

今までJICA森林分野の技術協力プロジェクトは主にラオス北部で実施されてきましたが、今回初めてラオス中部で実施することになります。サバナケット県では、キャッサバ栽培などの商品作物栽培の拡大により、森林保全対象地の森林減少が進行しており、県および郡の関係者の高い期待と関心を感じる機会となりました。

なお、今回のキックオフ会合は、ラオス側がプロジェクト運営に対して主体性を持って取り組む姿勢を前面に打ち出しており、ラオス森林局次長とサバナケット県農林事務所次長によるラオス側の共同議長の下で開催され、REDD+紹介やプロジェクト説明は中央レベルの森林局のカウンターパートによって行われました。ラオス側のオーナーシップによる今後の活動の展開が期待されます。



サバナケット県におけるF-REDD 2キックオフミーティング



国立保全林近くの農地開拓と森林伐採

Contact

F-REDD 2/DOF Office

Kouvieng Street, Sisaket Village,
Chanthabouli District,
Vientiane Capital, Laos
Tel & Fax: 021(22)2536

F-REDD 2/FIPD Office

Phontong Swath Village, House No.
386, Unit 44, Chanthabouly District,
Vientiane, Laos



Ministry of Agriculture
and Forestry



Japan International
Cooperation Agency



[Website](#)



[Facebook](#)